

台風11号における岩屋ダムの防災操作について(速報)
(馬瀬川(東沓部地点)の水位を1.8m低減)

独立行政法人水資源機構の管理する岩屋ダムでは平成26年8月10日～11日の台風11号の影響により、岩屋ダム流域で時間最大雨量23.7ミリ(10日14時から15時まで)、降り始め(8日3時)から11日9時までの累加雨量は192.5ミリを記録しました。

この降雨により、岩屋ダム貯水池へ流れ込む水の量(流入量)は最大で毎秒約573立方メートルに達しました。この流入量に対し、毎秒約498立方メートルをダムに貯めて、下流河川の水位低減をはかりました。

この結果、ダム下流にある東沓部地点(下流基準点)において、ダムがなかった場合に推定される河川水位約5.7メートルを、3.9メートルまで低下(約1.8メートル低下)させたと推測されます。

※防災操作とは、大雨などの際、流れ込む水の一部を一時的に貯め込むことでダムから下流へ流す水量を減らし、下流の水位を低減させることです。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査によって数値等が変わることがあります。

平成26年8月12日



独立行政法人 水資源機構
岩屋ダム管理所

発表記者クラブ

中日新聞社萩原通信局	岐阜新聞社下呂支局
読売新聞社下呂通信部	朝日新聞社高山支局
毎日新聞社岐阜支局高山通信部	シーシーエヌ(株)メディア推進部
NHK 高山支局	名古屋テレビ 高山通信部
岐阜放送高山放送局	CBC中部日本放送 高山支局
中京テレビ岐阜支局報道部	東海テレビ高山通信部

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 岩屋ダム管理所 所長代理 佐藤

電話：0576-35-2339

台風11号における岩屋ダムの防災操作について(速報)

(馬瀬川(東沓部地点)の水位を1.8m低減)

平成26年8月10日～11日の台風11号の影響により激しい降雨に見舞われたことから、防災操作を実施しました。木曾川水系馬瀬川の岩屋ダム流域では、8月8日3時の降り始めから11日9時にかけて流域平均総降雨量192.5ミリを記録しました。

この降雨により、岩屋ダム貯水池へ流れ込む水の量は洪水流量(毎秒300立方メートル)に達したため、防災操作を開始しました。

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダムの放流量	同時刻におけ るダム貯留量
岩屋ダム	192.5mm	平成26年8月10日 19時18分	毎秒573 m ³	毎秒 75m ³	毎秒498m ³

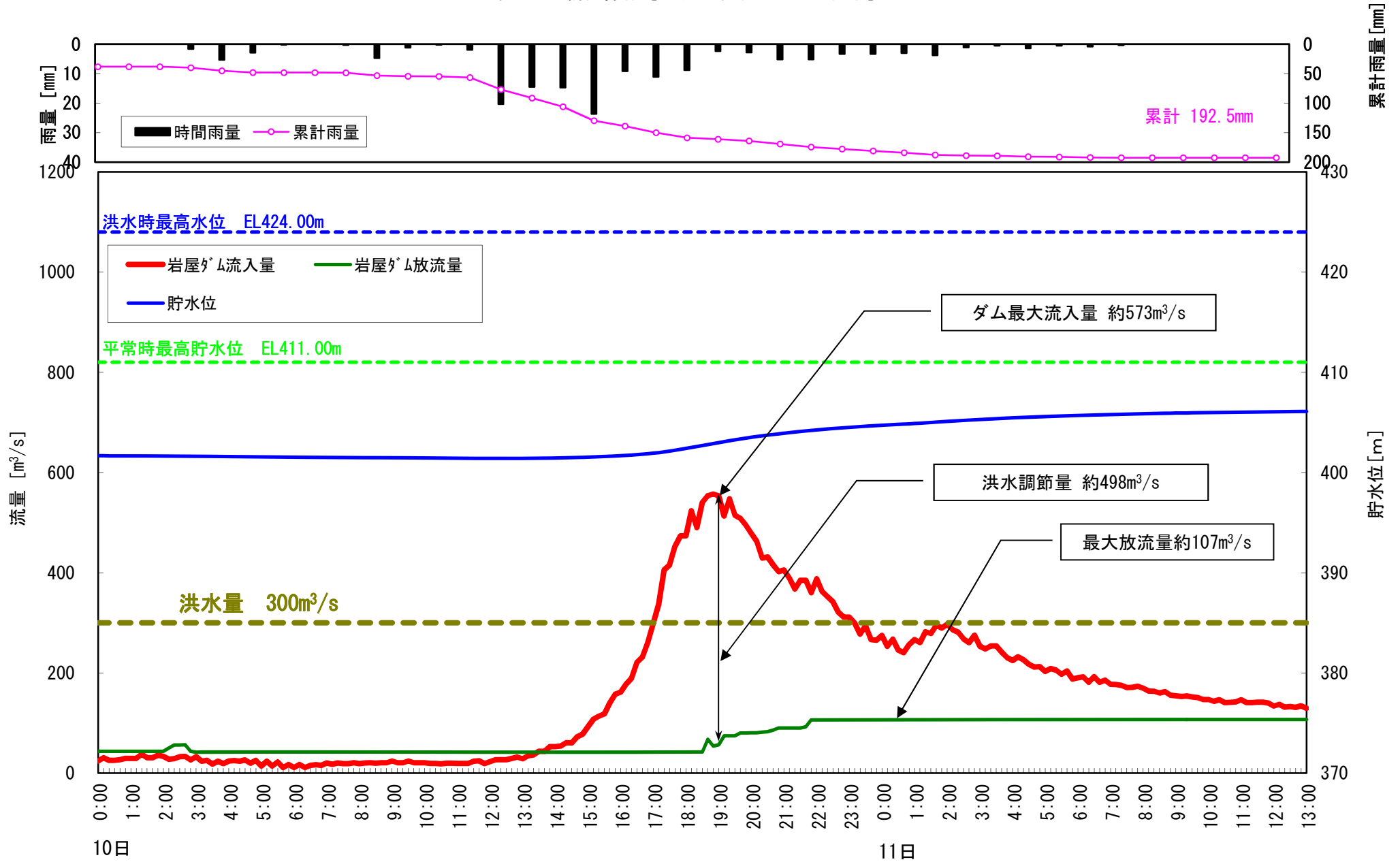
今回の防災操作により、ダム下流にある東沓部地点(下流基準点)では、約1.8メートルの水位低下効果があったと推定されます。

東沓部地点*の水位が 最高水位となった時刻	同時刻における 東沓部地点の河川水 位	ダムがなかった場合 の同地点の最高水位	水位低減効果
平成26年8月10日 19時00分	3.9m	5.7m	1.8m

※ 東沓部地点 ダム下流約9.3km、飛驒川本線合流前約7.5kmの地点

所在地 : 下呂市金山町東沓部字前田会津 1458

岩屋ダム防災操作 [平成26年8月10~11日洪水]



岩屋ダム 水位低減効果（東沓部地点）

左岸

右岸

ダムによる水位低減効果約1.8m

ダムがない場合の水位 約5.7m（推定）

実績水位 約3.9m

平常時の河川状況（東沓部）



ダムがない場合の水位 約5.7m（推定）

実績水位 約3.9m

※東沓部地点：岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本川合流前約7.5kmの地点
（住所：岐阜県下呂市金山町東沓部字前田会津1458）

